

# 北区中高生世代夢構想

平成20年12月  
東京都北区中高生夢構想検討委員会

## 策定の目的及び位置づけ

中高生世代が自ら成長し自立していくための支援のあり方を提言することが目的。

「北区基本計画 2005」

「北区中期計画（平成19年度～21年度）」

「北区次世代育成支援行動計画（平成17年2月）」  
に基づき策定し、

「北区次世代育成支援行動計画（後期）」

などに活かす。

## 対象

おおよそ12歳～18歳までの非就学者を含む中高生世代。  
中高生世代の“地域における日常的な居場所づくり”“社会参画の場（機会）の確保”“将来の夢形成支援（気づきと学習の機会の提供）”について検討。

## 基本的な考え方

中高生世代の居場所の基本は学校と家庭。一つしか居場所がないという若者はほとんどいないし、居場所を数多く持っている若者のほうが豊かな生活を送っていると思われる。中高生世代と地域・家庭・学校の関係も希薄化。中高生世代の成長を見守り、自立を促すには、その中核となる“居場所”と、成長のきっかけとなる“社会参画の機会”、“職業や社会情勢にふれる機会”の提供、これらを支える“成長を継続的に見守る仕組み”を整える必要がある。地域、家庭、学校において共通の理念の下にその連携を強化し、支援を行うことが重要。

現在の中高生世代は、社会の中での自身の居場所を見出しにくく、社会人としての夢ある将来を描きにくい状況。“社会にとって君たちは必要だ”“君たちの将来は自身で変えられる”というメッセージを伝えながら、この世代の特性を踏まえ、中高生世代の距離感を意識した“安心して居られる居場所”を提供することが大切。中高生世代の存在証明、達成感を充足させるための“柔軟で斬新な発想を取り入れる仕組み”を整えることが重要。

集団への帰属が難しく、孤立感を味わっている青少年や日常生活に困難を抱える若者たちにも手を差し伸べる必要がある。若者たちの身近なところで支援するとともに、関係機関とも十分連携しながら取り組んでいかなければならない。

## “夢”とは

個人レベルで自らの将来像を描くことだけでなく、現実の社会にその一員としてかわり、社会を形成していく主体となることを含む。

## 中高生世代を取り巻く現状と課題

### 社会経済情勢の変化

- ・社会経済の変化
- ・雇用の流動化・不安定化

### 子育て環境の変化

- ・家庭の変化
- ・地域社会の変化
- ・学校教育の変化

### 中高生世代の変化

- ・成熟した社会の中での価値観の多様化
- ・人間関係の変化

### 中高生世代のニーズへの対応

- ・ニーズの把握が必要
- ・距離感に配慮した居場所づくりが必要
- ・発想やエネルギーを活用する仕組み作りが必要

### 中高生世代を見守る地域環境づくり

- ・見守り育てるシステムの再構築が必要
- ・世代の特性と課題を踏まえ、切れ目なく支援する仕組み作りが必要
- ・日常生活に困難を抱えた中高生世代への支援が必要

### 気づきの機会の確保・職業観の育成

- ・広い視野からのキャリア教育や将来の夢形成が必要
- ・職場体験の多様な受け入れ先の確保が必要

## 「北区中高生意識調査報告書」からみた中高生の意識

自由時間の過ごし方は「友達と遊ぶ」が最も多いが、時間があればやりたいことも「友達と遊ぶ」。  
現在の友人は「一緒にいて楽しい人」が最も多いが、どのような友だちがもっとほしいのかには、最も多い回答は「信頼し合える人」となっている。

「学校での部活動」は、69%が参加し、週平均3.8日活動している。週7日部活動している高校男性が26%、週1日部活動している高校女性が22%など、放課後の自由時間は2極化している。

## 今後の施策の方向性

### ～基本理念～

#### 日常的な居場所（機会）づくり

- ・居場所とは“安心して過ごせる場所・機会”
- ・“地域と中高生世代の接点”となる居場所づくりを進める
- ・“中高生世代の思いを尊重する”居場所・機会づくりを進める

#### 中高生世代の発表の場、参画の機会の確保

- ・自主性・自立性を高めるための継続的な参画の機会を確保
- ・日常の過ごし方の充実につながる発表の場（機会）を提供
- ・“中高生世代の意見を行政施策に反映させる”ための参画の機会を確保

#### 将来の夢形成支援（気づきと学習の機会の提供）

- ・社会体験機会の充実
- ・大人世代からの経験・メッセージの伝達
- ・現在及び今後の社会についての学習

### ～施策の方向性～

- ・中高生世代に安心を提供し、多様で身近な居場所づくり
- ・地域住民の協力を得ながら地域と中高生世代の接点となる居場所づくり
- ・中高生世代の自発的ニーズを活かす居場所づくり
- ・中高生世代の支援ニーズと必要な距離感を理解し支援する居場所づくり
- ・日常生活に困難を抱えた若者への支援
- ・中高生世代を優先した空間づくり

- ・中高生世代の興味を引き出す機会を提供する仕組みづくり
- ・中高生世代の日常の活動を発表する場（機会）を提供
- ・中高生世代を区政の協働の担い手とする
- ・中高生世代の参画をすすめる際には、大人の役割、係わり方を配慮
- ・学校と地域の係わりの強化と地域に身近な係わりの場を構築

- ・社会体験機会の充実により、現実の社会を知り将来の夢を形成
- ・人生の楽しさ、人間の良さを知る機会を提供
- ・職場体験では、地域の経済を考える機会や、気づきの機会を提供
- ・職場体験やボランティア活動は、中高生世代の育ちを後押しする取組みとして推進
- ・職場体験は、地域にとっても有効な取組みとして推進
- ・職場体験は、多様な受け入れ先を確保